

中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名

プラットフォーム部門
企業ネットワーク専門委員会

1/3

企画戦略委員	樽屋 克彦(日立製作所)	登録委員数	46人 (4グループ) 9社
正副委員長 リーダー・サブ	委員長：馬場 秀和(富士通株式会社) 副委員長：須藤 一郎(岩崎通信機株式会社)		図解
活動の目的・意義 (新テーマを含む)	<ul style="list-style-type: none"> 昨今の働き方改革などの業務効率化において企業内通信網の重要性は増々高まっており、多様な端末、アクセスへの対応、また、サイバー攻撃への対策など新たな技術標準の検討が必要になっている。 企業ネットワークにかかる技術検討、動向調査および標準化活動。ITU-T、ISO/IECおよびIETF等の成果に基づいた国内標準化を推進する。 消防指令システムと消防救急無線に関し、マルチベンダシステム間での相互接続可能な共通インターフェースの仕様化を実施する。 		
活動する上での課題	<ul style="list-style-type: none"> 企業ネットワークというくくりであるため、対象範囲が広く、伝送方式から管理やセキュリティまで多岐にわたる専門家が必要となる。 		
関連のSDGsゴール			別紙参照
標準化方針	<ul style="list-style-type: none"> 企業ネットワークに接続されるデバイスの多様化、利用できるサービスの拡大(クラウド含む)に対応して、ネットワークそのものの高度化を進めていく。 企業ネットワークの高度化に伴い、益々重要性が高まっていくセキュリティ、管理、品質保証などの関連技術も標準化を進める。 音声系サービス(PBX等)の拡充も継続的に検討する。 消防指令システムに関しては、既存システムとの整合性を十分に考慮しタイマーに仕様化する。 		
国内外 標準化団体動向	<ul style="list-style-type: none"> ISO/IEC、IETFにおいては標準化された技術の機能拡張が継続されており、引き続き調査検討を行う必要性がある。 企業や業界団体によるデファクトスタンダード化の存在感が増している。 		

中期標準化戦略（2021年度重点取り組みと活動報告）

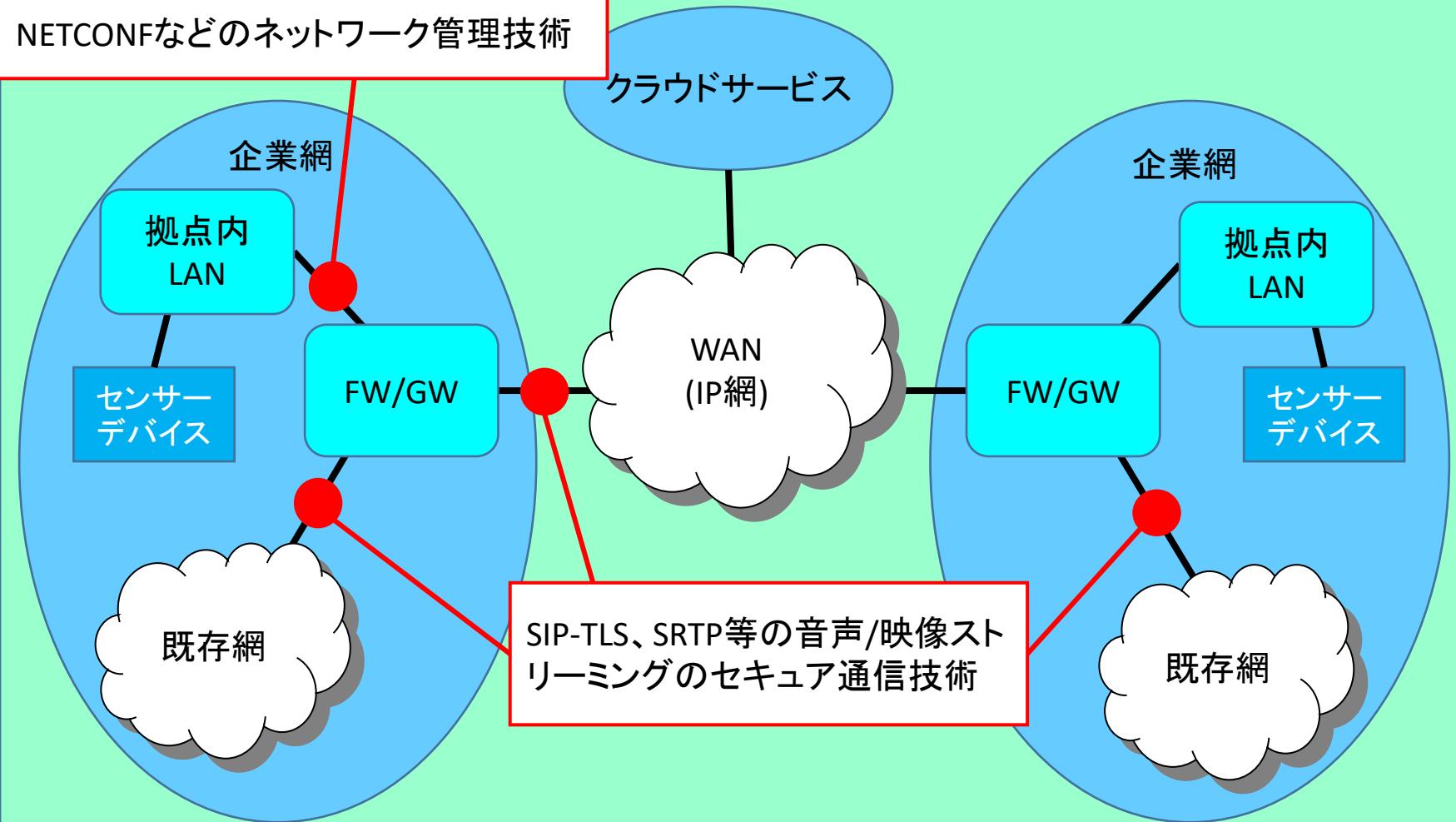
専門委員会・AG名	プラットフォーム部門 企業ネットワーク専門委員会	3/3
-----------	-----------------------------	-----

新テーマ及び重点取り組み	<ul style="list-style-type: none"> デジタルトランスフォーメーション時代を支える今後の企業ネットワーク構成技術。特にCOVID-19禍に伴うテレワークの急激な普及により強く求められているレジリエントな企業ネットワークを構築するためのエッジコンピューティング技術。 消防指令システム仕様書の改定（新技術の取り込み、方式の統一化） 企業ネットワークの技術動向の継続的チェック 			
関連する専門委員会とその内容	<ul style="list-style-type: none"> 網管理、移動通信網マネジメント専門委員会等、ネットワーク管理と関連するグループとの情報交換の推進。 			
主な活動項目	概況指標	2021年度目標（当初計画時）	2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-		
	外部会合への参加・連携状況	-		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件		
	TS/TR/SR	1件/1件/1件 ・消防指令システム（仕様書改定） ・エッジコンピューティングに関する技術レポート ・新規テーマに関する調査レポート		
③ ダウンストリーム	数	0件		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	-		
	記事投稿、講演会	-		

企業ネットワーク専門委員会の標準化領域

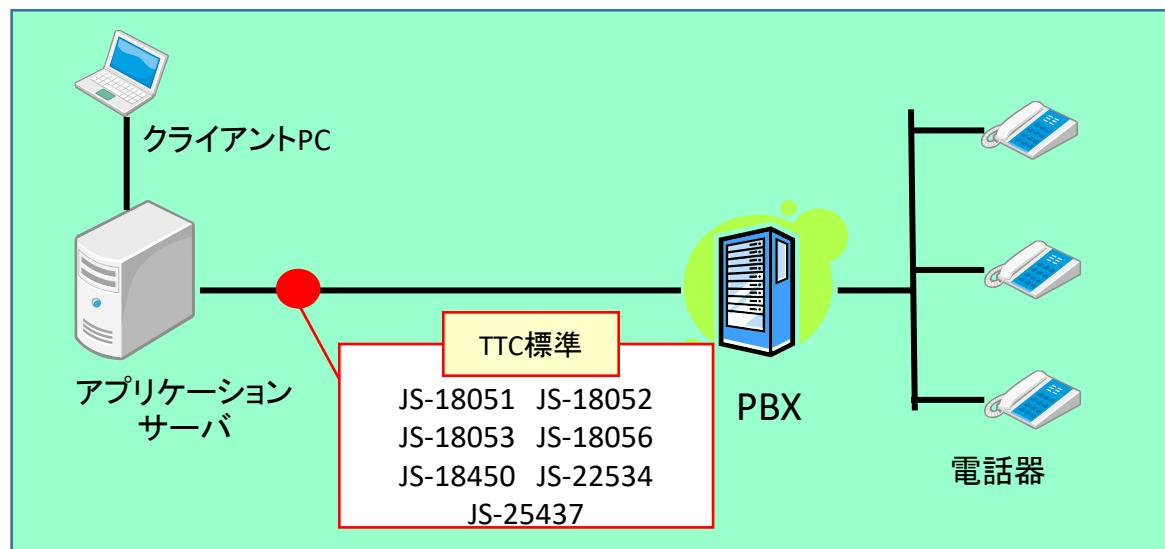
企業網インターフェースSWG
(SWG3302)

NETCONFなどのネットワーク管理技術



企業ネットワーク専門委員会の標準化領域

CTインターフェースSWG (SWG3303)



消防指令システムSWG (SWG3304)

消防指令システム↔消防救急無線間のインターフェース仕様

